

ごたんだ
五反田遺跡

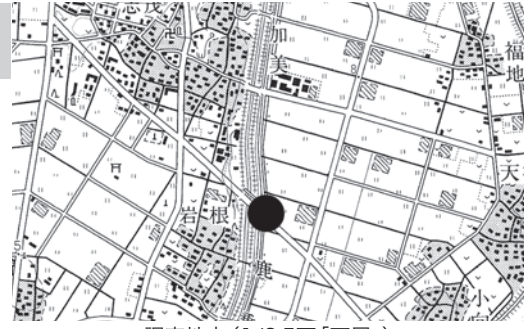
所在地 安城市小川町五反田・三反田
(北緯34度54分13秒 東経137度5分43秒)

調査理由 中小河川改良事業(鹿乗川)

調査期間 平成21年5月

調査面積 20㎡

担当者 池本正明・永井邦仁



調査地点(1/2.5万「西尾」)

調査の経過 調査は県建設部河川整備課による中小河川改良事業(鹿乗川)に伴う事前調査として、愛知県教育委員会の委託を受けて平成21年5月に実施した。

テストトレンチ(T.T.)は県道幸田・石井線を挟んで南北に1か所ずつ設定した。

立地と環境 安城市域の鹿乗川と矢作川に挟まれた平野部周辺には、微高地上や碧海台地縁辺部に多数の遺跡が確認されている。五反田遺跡はこのうちの1つで、北側に下懸遺跡、南側に惣作遺跡が所在している。

調査の概要 調査区はいずれも遺構が希薄となるが、2面の遺構面を確認した。

上面では、T.T.1で土坑が確認できた。検出面が暗灰黄色細砂上部となり、微高地となる可能性が高い。北側に近接する下懸遺跡の南側では谷地形が確認されており、確認された微高地は狭い範囲に限られたものであろう。T.T.2では湿地状の地形が確認できた。不鮮明ながらも畦畔状の高まりが確認でき、水田である可能性も考えられる。

下面ではT.T.1で小土坑を検出したが、T.T.2では当該期の遺構は未確認となる。

出土遺物は、T.T.2から平安時代頃の須恵器・灰釉陶器が採集された。

(池本正明)



T.T.-001



T.T.-002